

学校だより



川口市立元郷中学校

〒332-0003 川口市東領家 1-8-3

TEL 048-222-4143 FAX 048-225-3222

令和2年6月12日 第352号

<https://motogo-j-kawaguchi-saitama.edumap.jp>

「だいじょうぶ！未来は元気だよ！」

校長 高田 晶子

梅雨入りの気になる季節となりました。熱中症と感染症予防の対策が重なり、ますます健康管理に要注意の日々が続きます。そのような中、分散登校も後半を迎え、登校することに慣れてきた生徒も多いようです。

しかし、人の体は正直です。学校で3時間の授業を行い、帰宅後ボタンキューの生徒も多いと聞きます。健康的な生活リズムを取り戻すまで、もう少しの間ゆっくり生活していきたいものです。



さて、人類は100年前にも感染症に（通称スペイン風邪）襲われ、取った対策は、今と同じ、人との接触を避ける行動だったそうです。現在は研究も進み、ワクチンや治療薬の開発のおかげで、当時のウイルスには悩まされていませんが、新型コロナウイルスが100年後に発生してきたわけです。人生100年時代と言われています。そうすると、一生のうち一度は、感染症と共生していかなければならないのではないのでしょうか。

最近、新しい生活様式や新しい・・・、という言葉をよく聞くようになりました。生活に影響する世界的事変が起こると時代が変わるともいわれます。TVのニュース等で再構築の類の話では、そこに関わる研究者は、100年先にどうなっているかを思い描いて予測や計画を立てるといいます。100年をかけて変えていく。何かを変えていくということは、そのくらい年月がかかるものなのでしょう。今のうちに見届けられないことが多いのも確かです。しかし、100年先への思いを持つということが大いに価値あることなのでしょう。誰かのためになることなのです。日々の過ごし方は自分のため。その先にあるものは、誰かのためになるのではないのでしょうか。そのように、人は強さと優しさを兼ね備えているのです。これから生きていく人のために頑張れることは、それは、美しいことです。目先のことにとらわれず、大きく構えて考えていきたいものです。

皆さんは、ドラえもんをご存知ですか。22世紀のネコ型ロボットです。未来の国からやってきたドラえもんは、何と誕生日は2112年9月3日。今年50周年を迎えました。生誕というべきなのでしょう。私たちよりもはるか先の世界に生きていて、親友ののび太君をより良い人間にするため未来の国からやってきました。そのドラえもんが、マスクをしながら、「だいじょうぶ！未来は元気だよ！」と、新聞広告面から私たちにエールを送ってくれています。現状を乗り越える元気が湧いてくるのです。

先を見て、元気に進んでいきましょう。